

# ガラス, うわ薬またはガラス質ほうろうの化学組成; ガラスの表面処理; ガラス, 鉱物またはスラグ製の繊維またはフィラメントの表面処理; ガラスのガラスまたは他物質への接着

## サブクラス内の索引

化学組成.....	
ガラス 1/00, 3/00, 4/00, 6/00, 10/00-12/00 .....	
うわ薬, ガラス質ほうろう 1/00, 8/00 .....	
失透ガラスセラミック 10/00 .....	
繊維またはフィラメント 13/00 .....	
一つの非ガラス成分を含有するガラス 14/00 .....	
表面処理.....	
表面への拡散によるもの 21/00 .....	
被覆によるもの 17/00 .....	
他の処理 15/00, 19/00, 23/00 .....	
繊維またはフィラメントの 25/00 .....	
接着 27/00, 29/00 .....	
特殊構造のガラス 10/00-12/00, 14/00 .....	

## ガラス, うわ薬またはガラス質ほうろうの化学組成

### 注

グループ C03C1/00-C03C14/00 においてはラストプレイス優先ルールが適用される, すなわち各階層レベルにおいて相反する指示がない限り, 最後の適切な箇所に分類する。[4]

- 1/00 ガラス, うわ薬またはガラス質ほうろうの製造に一般的に適用される原料
- 1/02 ・予備処理された原料
- 1/04 ・乳白剤, 例. ふっ化物またはりん酸塩; 顔料
- 1/06 ・不均一に色づけられた, 例. はん点状, 大理石状または不理相状, 製品の製造用原料
- 1/08 ・ひびわれ効果を生じるための原料
- 1/10 ・均一に着色された透明品の製造用原料
- 3/00 ガラスの組成物 (ガラスのバッチ組成物 C03C6/00) [4]
- 3/04 ・シリカを含むもの[4]

### 注

・もしシリカが 3/06, 3/062 または 3/076 のグループの中の二つのグループによりカバーされるパーセント範囲で存在するものとして特定されるなら, そのグループの両方に分類する。もしその範囲が 3 つのグループによってカバーされるなら, グループ 3/04 に分類する。[4]

- 3/06 ・重量比 90% より多くシリカを有するもの, 例. 石英
- 3/062 ・重量比 40% 未満のシリカを有するもの [4]
- 3/064 ・・・・ほう素を含むもの[4]
- 3/066 ・・・・亜鉛を含むもの[4]
- 3/068 ・・・・希土類を含むもの[4]

- 3/07 ・・・・鉛を含むもの[4]
- 3/072 ・・・・ほう素を含むもの[4]
- 3/074 ・・・・亜鉛を含むもの[4]
- 3/076 ・重量比で 40% から 90% シリカを有するもの[4]
- 3/078 ・・・・二価金属の酸化物, 例. 亜鉛の酸化物, を含むもの[4]
- 3/083 ・・・・酸化アルミニウムまたは鉄化合物を含むもの[4]
- 3/085 ・・・・二価金属の酸化物を含むもの[4]
- 3/087 ・・・・酸化カルシウムを含むもの, 例. 通常の板ガラスまたは容器ガラス[4]
- 3/089 ・・・・ほう素を含むもの[4]
- 3/091 ・・・・アルミニウムを含むもの[4]
- 3/093 ・・・・亜鉛またはジルコニウムを含むもの[4]
- 3/095 ・・・・希土類を含むもの[4]
- 3/097 ・・・・りん, ニオブまたはタンタルを含むもの[4]
- 3/102 ・・・・鉛を含むもの[4]
- 3/105 ・・・・アルミニウムを含むもの[4]
- 3/108 ・・・・ほう素を含むもの[4]
- 3/11 ・・・・ハロゲンまたは窒素を含むもの[4]
- 3/112 ・・・・ふっ素を含むもの[4]
- 3/115 ・・・・ほう素を含むもの[4]
- 3/118 ・・・・アルミニウムを含むもの[4]
- 3/12 ・シリカを含まない酸化物ガラス組成物[4]
- 3/14 ・・・・ほう素を含むもの[4]
- 3/145 ・・・・アルミニウムまたはベリリウムを含むもの[4]
- 3/15 ・・・・希土類を含むもの[4]
- 3/155 ・・・・ジルコニウム, チタン, タンタルまたはニオブを含むもの[4]
- 3/16 ・・・・りんを含むもの[4]
- 3/17 ・・・・アルミニウムまたはベリリウムを含むもの[4]
- 3/19 ・・・・ほう素を含むもの[4]
- 3/21 ・・・・チタン, ジルコニウム, バナジウム, タングステンまたはモリブデンを含むもの[4]
- 3/23 ・・・・ハロゲンおよび少なくとも一つの酸化物, 例. ほう素の酸化物, を含むもの[4]
- 3/247 ・・・・ふっ素およびりんを含むもの[4]
- 3/253 ・・・・ゲルマニウムを含むもの[4]
- 3/32 ・非酸化物ガラス組成物, 例. ゲルマニウム, セレンまたはテルルの二元または三元ハロゲン化物, 硫化物または窒化物[4]
- 4/00 特殊性質をもつガラス用組成物[4]

### 注

グループ 4/00 中に分類するとき, ガラス組成に従ってグループ 3/00 中の適当なサブグループにも分類する。[4]

- 4/02 ・着色ガラス用[4]
- 4/04 ・感光性ガラス用[4]

# C03C

- 4/06 ・ ・ ホットロピックまたはホトクロミック  
ガラス用[4]
- 4/08 ・ 特定波長の放射線を選択的に吸収するガ  
ラス用[4]
- 4/10 ・ 赤外線透過ガラス用[4]
- 4/12 ・ 発光ガラス用;けい光ガラス用[4]
- 4/14 ・ 導電性ガラス用[4]
- 4/16 ・ 誘電性ガラス用[4]
- 4/18 ・ イオン感応性ガラス用[4]
- 4/20 ・ 耐薬品性ガラス用[4]
- 6/00 ガラスバッチ組成物 (バッチ組成物の単一  
成分 C03C1/00) [4]

## 注

このグループは、その成分が十分加熱されることによって融解してガラス化される組成物、例. ガラス炉保護材を含む。[4]

- 6/02 ・ けい酸塩を含むもの、例. カレット[4]
- 6/04 ・ 遊離のシリカを含むもの、例. 砂[4]
- 6/06 ・ ハロゲン化合物を含むもの[4]
- 6/08 ・ ペレットまたは集塊を含むもの[4]
- 6/10 ・ スラグを含むもの[4]
- 8/00 ほうろう;うわ薬;非フリット添加物をもつ  
フリット組成物である熔融封止剤組成物  
[2006. 01]
- 8/02 ・ フリット組成物、つまり粉末化または粉碎  
された形にあるもの[4]
- 8/04 ・ ・ 亜鉛を含むもの[4]
- 8/06 ・ ・ ハロゲンを含むもの[4]
- 8/08 ・ ・ りんを含むもの[4]
- 8/10 ・ ・ 鉛を含むもの[4]
- 8/12 ・ ・ ・ チタンまたはジルコニウムを含むも  
の[4]
- 8/14 ・ 非フリット添加物をもつガラスフリット  
混合物、例. 乳白剤、着色剤、ミル添加物  
[4]
- 8/16 ・ ・ ビヒクルまたは懸濁化剤をもつもの、  
例. スリップ[4]
- 8/18 ・ ・ 遊離金属を含むもの[4]
- 8/20 ・ ・ チタン化合物を含むもの;ジルコニウム  
化合物を含むもの[4]
- 8/22 ・ 異なる組成をもつ二つ以上の異ったフリ  
ットを含むもの[4]
- 8/24 ・ 非フリット添加物をもつフリット組成で  
ある熔融封止剤組成物、すなわち、異種材  
料、例. ガラスおよび金属、の間のシール  
として用いるためのもの;ガラスはんだ  
[4]
- 10/00 失透ガラス—セラミックス、すなわち、ガラ  
ス相内に分散され、全組成の少なくとも  
50重量%を構成する結晶相をもつガラス  
セラミックス[4]
- 10/02 ・ 無シリカおよび無けい酸塩結晶相、例. ス  
ピネル、チタン酸バリウム[4]
- 10/04 ・ けい酸塩または多けい酸塩結晶相、例. ム

- ライト、透輝石、チタン石、斜長石[4]
- 10/06 ・ ・ 二価金属酸化物アルミノけい酸塩結晶  
相、例. 灰長石、スラグセラム[4]
- 10/08 ・ ・ ・ マグネシウムアルミノけい酸塩、例.  
堇青石[4]
- 10/10 ・ ・ アルカリ金属アルミノけい酸塩結晶質  
相[4]
- 10/12 ・ ・ ・ リチウムアルミノけい酸塩、例. スポ  
ジュメン、ユークリプタイト[4]
- 10/14 ・ シリカ結晶質相、例. マタッフドクォーツ、  
クリストバライト[4]
- 10/16 ・ ハロゲン含有結晶質相[4]
- 11/00 あわガラス
- 12/00 粉末ガラス (C03C8/02 が優先) ; ビード組  
成物[4]
- 12/02 ・ 反射性ビーズ[4]
- 13/00 繊維またはフィラメント組成物 (繊維また  
はフィラメントの製造 C03B37/00)
- 13/02 ・ チタンまたはジルコニウムの化合物を含  
むもの[4]
- 13/04 ・ 光ファイバー、例. コアおよびクラッド繊  
維組成物[4]
- 13/06 ・ 鉱物繊維、例. スラグウール、ミネラルウー  
ル、ロックウール[4]
- 14/00 一つの新ガラス成分を含有するガラス組成  
物、例. ガラスマトリックス内に分散され  
た繊維、フィラメント、ウィスカー、小薄  
板または類似のものを含む組成物 (ガラ  
スバッチ組成物 C03C6/00;失透したガラ  
ス—セラミックス C03C10/00) [4]

## ガラスの表面処理; ガラス、鉱物またはスラグ製の 繊維またはフィラメントの表面処理

## 注

モルタル、コンクリート、または人造石の充填特性を向上させるのに特に適合する処理はこのグループに包含されず、サブクラス C04B に包含される。

- 15/00 繊維やフィラメントの形態をとらないガラ  
スの、エッチングによる表面処理[2]
- A 気相エッチング
- B エッチング組成物
- C エッチング装置 [A が優先]
- D マスクまたはレジストを使用するもの
- E 珪弗化水素酸水溶液によるもの
- F 感光ガラスのエッチング
- G 分相ガラスのエッチング
- Z その他のもの
- 15/02 ・ なめらかな表面を作るためのもの
- 17/00 繊維やフィラメントの形態をとらないガラ  
ス、例. 結晶化ガラス、の被覆による表面  
処理

17/02	・ガラスによるもの (C03C17/34, C03C17/44 が優先) [3]	17/36	・少くとも 1 つの被覆が金属であるもの [3]
A	気相からの析出によるもの	17/38	・少くとも 1 つの被覆が有機物質の被覆であるもの [3]
B	液相からの析出によるもの	17/40	・すべての被覆が金属被覆であるもの [3]
Z	その他のもの [主として融液]	17/42	・少くとも 1 つが有機物質の被覆でありかつ少くとも 1 つが非金属被覆であるもの [3]
17/04	・ガラス粉末を撒布, 焼結することによる	17/44	・ラスターがけ [3]
A	被覆材料	19/00	繊維やフィラメントの形態をとらないガラスの, 機械的手段による表面処理 (ガラスのサンドブラスト, 荒けずりまたはつや出し B24)
B	転写によるもの	A	ブラストによるもの
C	被覆装置	Z	その他のもの
Z	その他のもの	21/00	繊維やフィラメントの形態をとらないガラスの, 表面にイオンまたは金属を拡散することによる表面処理
17/06	・金属によるもの (C03C17/34, C03C17/44 が優先) [3]	A	電位差の適用下のもの [エレクトロフロート法は 21/00, 102A]
A	金属粉末およびフリットを含有するペーストを焼き付けることによるもの	B	屈折率分布の形成 [C が優先]
Z	その他のもの	C	多孔質ガラスまたはゲルへの含浸
17/09	・蒸気相からの析出によるもの [3]	D	結晶化ガラスの処理
17/10	・液相からの析出によるもの	E	フォトリソグラフィックガラスの処理
17/22	・他の無機物によるもの (C03C17/34, C03C17/44 が優先) [3]	Z	その他のもの
A	蛍光体膜の形成	101	・化学強化
Z	その他のもの	102	・着色
17/23	・酸化物 (C03C17/02 が優先) [3]	102 A	エレクトロフロート法
17/245	・蒸気相からの析出によるもの [3]	102 Z	その他のもの
A	真空蒸着, スパッタリングまたはイオン注入法によるもの	23/00	繊維やフィラメントの形態をとらない繊維以外のガラスのその他の表面処理
Z	その他のもの [主として, CVD]	A	洗浄
17/25	・液相からの析出によるもの [3]	B	酸性ガスによるガラス表面の脱アルカリ
A	被覆材料	C	焼け防止
B	被覆装置	D	光又はエネルギー線の照射によるもの
Z	その他のもの	E	・カルコゲナイドガラスの処理
17/27	・前に行った被覆の酸化によるもの [3]	Z	その他のもの
17/28	・有機物質によるもの (C03C17/34, C03C17/44 が優先) [3]	25/00	ガラス, 鉱石またはスラグ製の繊維またはフィラメントの表面処理 [2018. 01]
A	被覆材料		
Z	その他のもの		
17/30	・けい素含有化合物によるもの		
A	被覆材料 [B が優先]		
B	けい素およびふつ素を含有する化合物によるもの		
Z	その他のもの		
17/32	・合成または天然樹脂によるもの (C03C17/30 が優先)		
A	被覆材料 [B が優先]		
B	着色, 装飾		
C	フィルムまたはシート状被覆材料を用いるもの		
D	被覆装置		
Z	その他のもの		
17/34	・組成の異なる少くとも 2 種の被覆を有するもの (C03C17/44 が優先) [3]		
A	すべての被覆が有機物質の被覆であるもの		
Z	その他のもの [すべての被覆が金属以外の無機物質の被覆であるもの]		

## 注

1. グループ C03C25/24-C03C25/48 においては, ラストプレイス優先ルールが適用される, すなわち各階層レベルにおいて相反する指示がない限り, 最後の適切な場所に分類する。

## 注

## 注

2. 被覆組成物, 即ち 2 以上の成分の混合物は, これらの成分のうち少なくとも 1 つを規定しているグループ C03C25/24-C03C25/42 のうち最後のグループに分類される。

## 注

## 注

3. グループ C03C25/24-C03C25/42 に分類する場合、被覆組成物の個々の構成成分であって、注(2)による分類では特定されず、それ自体が新規かつ非自明であると判断されたものについても、グループ C03C25/24-C03C25/42 の最後の適切な箇所にも分類しなければならない。

#### 注

#### 注

4. グループ C03C25/24-C03C25/42 に分類する場合、被覆組成物の個々の構成成分であって、注 (2) または (3) による分類では特定されず、かつ、検索に重要な情報であると思われるものについても、グループ C03C25/24-C03C25/42 にも分類することができる。これは、例えば分類記号の組合わせを用いて被覆組成物を検索できることが重要であると考えられる場合にあり得る。このような非義務的分類は、“付加情報”として表示すべきである。

#### 注

#### 注

5. グループ C03C25/1025-C03C25/1095 に分類する場合、被覆組成物は、注 (1) - (4) に従いグループ C03C25/24-C03C25/54 の 1 以上のグループにも分類されなければならない。

#### 注

#### 注

6. グループ C03C25/48 に分類する場合、それ自体が新規かつ非自明であると決定される個々の被覆は注 (1) - (4) に従いグループ C03C25/24-C03C25/42 にも分類されなければならない。

- 25/002   ・熱処理[2018. 01]
- 25/005   ・機械的手段によるもの[2018. 01]
- 25/007   ・溶液による含浸;溶液ドーピングまたは多孔質ガラスの分子充填[2018. 01]
- 25/10    ・被覆[2018. 01]
- 25/1025   ・セメントをベースにした強化製品に用いられる繊維を得るためのもの[2018. 01]
- 25/104    ・光ファイバーを得るためのもの[2018. 01]
- 25/105    ・有機クラッド[2018. 01]
- 25/106    ・単一被覆[2018. 01]
- 25/1065   ・多層被覆[2018. 01]
- 25/1095   ・被覆布を得るためのもの[2018. 01]
- 25/12    ・被覆の一般的な方法;そのための装置[7]
- 25/14    ・吹き付け[2018. 01]
- 25/143    ・連続繊維に対するもの[2018. 01]
- 25/146    ・ガス媒体中に懸濁した繊維上に対するもの[2018. 01]
- 25/16    ・浸液[7]
- 25/18    ・押出[7]
- 25/20    ・繊維をアプリケーション、例. ロール、に接触させるもの[7]
- 25/22    ・蒸着[2018. 01]
- 25/223    ・化学蒸着または熱分解によるもの

- [2018. 01]
- 25/226   ・スパッタリングによるもの[2018. 01]
- 25/24    ・有機材料を含有する被覆[2018. 01]
- 25/25    ・非高分子化合物[2018. 01]
- 25/255   ・油, ワックス, 脂肪またはその誘導体[2018. 01]
- 25/26    ・高分子化合物またはプレポリマー[2018. 01]
- 25/27    ・ゴムラテックス[2018. 01]
- 25/28    ・炭素—炭素不飽和結合のみが関与する反応により得られるもの[2018. 01]
- 25/285   ・アクリル樹脂[2018. 01]
- 25/30    ・ポリオレフィン[2018. 01]
- 25/305   ・ポリフルオロオレフィン[2018. 01]
- 25/32    ・炭素—炭素不飽和結合のみが関与する反応以外から得られるもの[2018. 01]
- 25/321   ・でんぷん;でんぷん誘導体[2018. 01]
- 25/323   ・ポリエステル, 例. アルキド樹脂[2018. 01]
- 25/325   ・ポリカーボネート[2018. 01]
- 25/326   ・ポリ尿素;ポリウレタン[2018. 01]
- 25/328   ・ポリアミド[2018. 01]
- 25/34    ・アルデヒド縮合重合体, 例. フェノール, 尿素, メラミン, アミド, またはアミンとの[7]
- 25/36    ・エポキシ樹脂[7]
- 25/38    ・有機金属化合物[7]
- 25/40    ・有機ケイ素化合物[7]
- 25/42    ・無機物質を含有する被覆[7]
- 25/44    ・炭素, 例. グラファイト[7]
- 25/46    ・金属[7]
- 25/465    ・複合材料を含有する被覆[2018. 01]
- 25/47    ・粒子, 繊維またはフレークを含有するもの, 例. 連続相中で[2018. 01]
- 25/475    ・着色成分を含有するもの[2018. 01]
- 25/48    ・異なる組成物で構成される二つ以上の被覆を有する[7]
- 25/50    ・有機物質のみを含有する被覆[7]
- 25/52    ・無機物質のみを含有する被覆[7]
- 25/54    ・有機物質のみを含有する一つ以上の被覆と、無機物質のみを含有する一つ以上の被覆との組み合わせ[7]
- 25/60    ・表面にイオンまたは金属を拡散することによるもの[2018. 01]
- 25/601    ・液体相中で, 例. 溶液または熔融塩を用いるもの[2018. 01]
- 25/602    ・アルカリイオン間でイオン交換を行うためのもの (C03C25/605 が優先)[2018. 01]
- 25/603    ・電位差によるもの[2018. 01]
- 25/605    ・金属または金属イオン, 例. 銀または銅, をガラスに導入するためのもの

- [2018. 01]
- 25/607 ・ ・ ガス相中で[2018. 01]
- 25/608 ・ ・ 固相中で, 例. ペーストまたは粉体を用いるもの[2018. 01]
- 25/62 ・ 電気または波エネルギーの適用によるもの(乾燥または脱水用 C03C25/64) ; 粒子放射線またはイオン注入によるもの[2018. 01]
- 25/6206 ・ ・ 電磁波[2018. 01]
- 25/6208 ・ ・ ・ レーザー[2018. 01]
- 25/621 ・ ・ ・ マイクロ波[2018. 01]
- 25/6213 ・ ・ ・ 赤外線[2018. 01]
- 25/622 ・ ・ ・ 可視光[2018. 01]
- 25/6226 ・ ・ ・ 紫外線[2018. 01]
- 25/624 ・ ・ ・ X 線[2018. 01]
- 25/6246 ・ ・ ・ ガンマ線[2018. 01]
- 25/626 ・ ・ 粒子放射線またはイオン注入[2018. 01]
- 25/6266 ・ ・ ・ 電子, 陽子またはアルファ粒子[2018. 01]
- 25/6273 ・ ・ ・ 中性子[2018. 01]
- 25/628 ・ ・ ・ 原子[2018. 01]
- 25/6286 ・ ・ ・ イオン注入[2018. 01]
- 25/6293 ・ ・ プラズマまたはコロナ放電[2018. 01]
- 25/64 ・ 乾燥, 脱水, 脱水酸基[7]
- 25/66 ・ 化学処理, 例. 濾過, 酸またはアルカリによる処理(脱水酸基 C03C25/64) [7]
- 25/68 ・ ・ エッチングによるもの[7]
- 25/70 ・ クリーニング, 例. 再利用のため(C03C25/62-C03C25/66 が優先) [7]

## ガラスのガラスへのまたは他の材料への接着

### 注

グループ 27/00 または 29/00 に分類される積層体は B32B にも分類される。

- 27/00 ガラスの他の無機物質への接着; 融着以外によるガラスのガラスへの接着(C03C17/00 が優先; 溶融封止物組成物 C03C8/24; 網入りガラス C03B; ガラスのセラミックへの接着 C04)
- 27/02 ・ ガラスの金属への直接融着によるもの
- A 金属の表面処理に特徴のあるもの
- Z その他のもの
- 27/04 ・ 中間層によるガラスの金属への接着
- A 金属によるもの
- B ガラスまたは無機物によるもの
- C ・ 溶融ガラスに浸漬することによるもの
- D 有機物によるもの
- Z その他のもの
- 27/06 ・ 融着以外の方法によるガラスのガラスへの接着
- 101 ・ ・ 27/08-27/12 に分類されない空間層成

### ガラス

- 101 A ガラスにより接着したもの
- 101 B 金属スパーサーをはんだ付けしたもの
- 101 C 製造装置
- 101 D 封止構造, ガスの封入方法に特徴のあるもの
- 101 E 気体または液体を導入・排出しうるもの
- 101 F 液体または固体を充填したもの
- 101 G 防曇手段〔乾燥剤によるものを除く〕を備えたもの
- 101 H ガラス板の表面処理に特徴のあるもの
- 101 J 挿入物を持つもの
- 101 K ・ フィルムを張設したもの
- 101 Z その他のもの
- 27/08 ・ ・ 介在金属を用いることによるもの
- A 封着用合金
- B ステンドグラス
- Z その他のもの
- 27/10 ・ ・ 目的に特に適する接着物によるもの
- A ガラスまたは無機物によるもの
- B ・ ガラスまたは無機系接着剤
- C ・ 溶融ガラスに浸漬することによるもの
- D 有機物によるもの
- E ・ 有物系接着剤
- Z その他のもの
- 27/12 ・ ・ ・ 合わせガラス(その一部がプラスチック材からなる合わせガラスの製造における機械的特徴 B32B)
- A 液状の接着剤を用いた点に特徴のあるもの
- B ・ 合わせガラス用接着剤
- C アセタール系中間膜を用いた点に特徴のあるもの
- D ・ アセタール系中間膜
- E 非アセタール系中間膜を用いた点に特徴のあるもの
- F ・ 非アセタール系中間膜
- G 中間膜の延伸, 切断
- H 合わせガラス製造装置〔A が優先〕
- K プラスチックフィルムを中間層として接着剤で積層したもの
- L 熱線反射層または導電層を有するもの
- M 発熱線またはアンテナ線を有するもの
- N 着色, 模様, 封入物を有するもの
- P 防火性合わせガラス
- Q 表面層として有機ガラス板または有機フィルムを有するもの
- R ガラス板の強化, 曲げ, 切断
- Z その他のもの
- 29/00 ガラスによる金属の接着